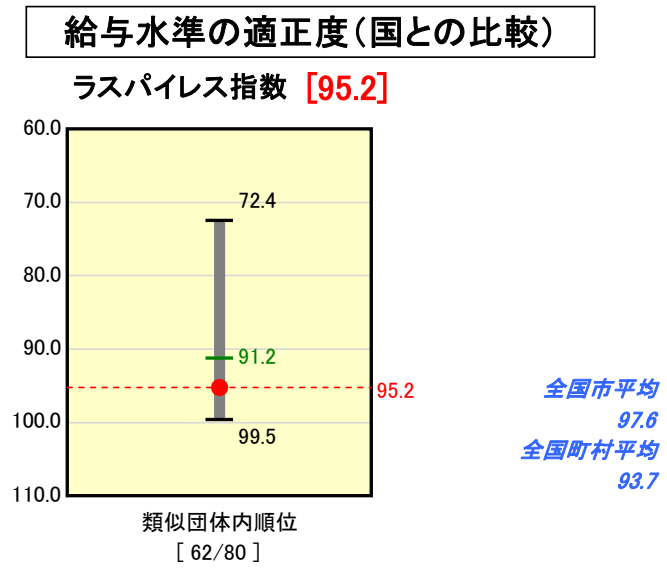
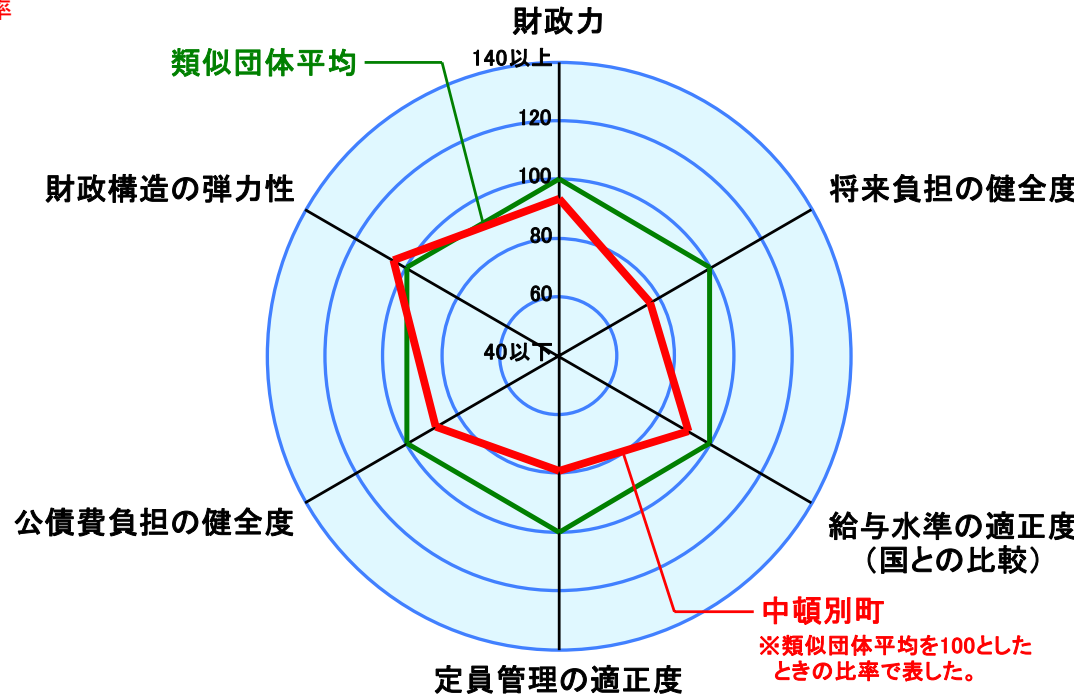
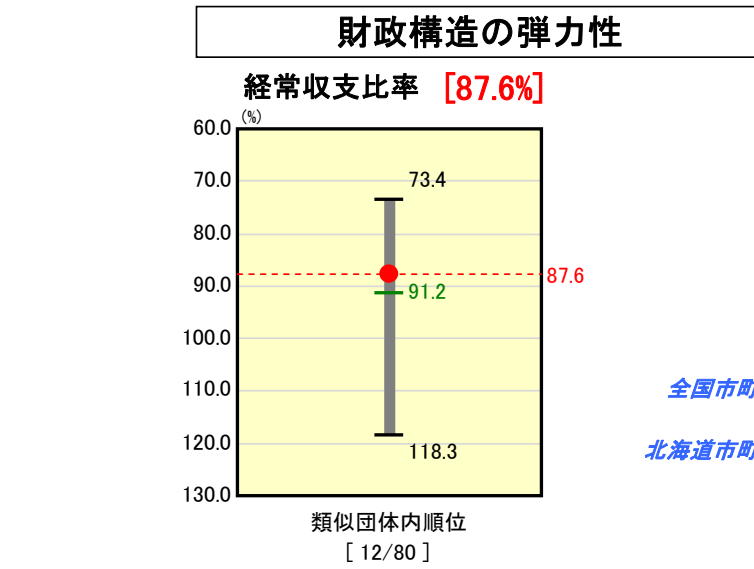
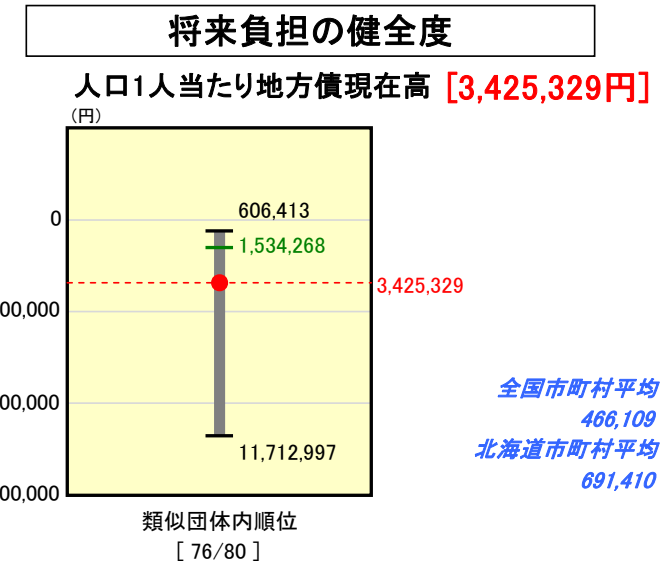
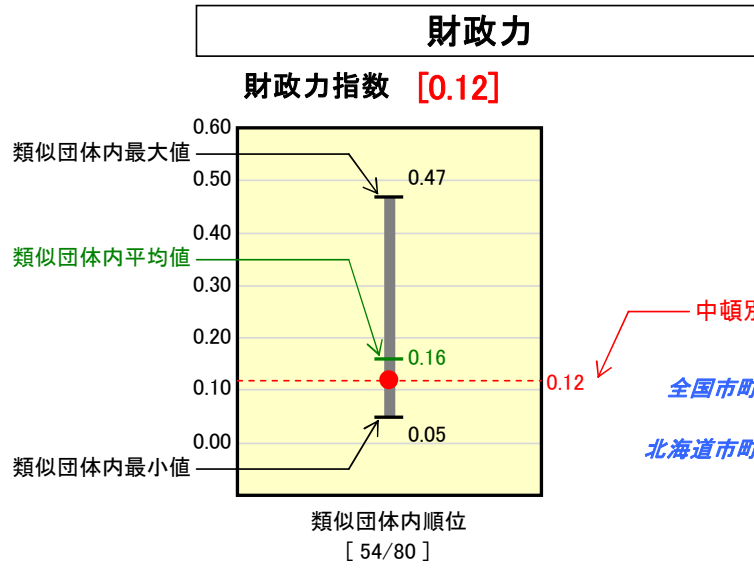


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

北海道 中頓別町

人口	2,333人(H17.3.31現在)
面積	398.55 km ²
歳入総額	4,576,084 千円
歳出総額	4,546,687 千円
実質収支	29,384 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○財政力指数：長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから0.12と類似団体平均を下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを図るとともに、税収の徴収率向上を中心とする歳入確保に努める。

○経常収支比率：公債費の増加により87.6%と類似団体平均を上回っている。退職者不補充のほか、特別職・一般職の給与の削減や事務事業の総点検・見直しを行い経常経費の縮減に努めている。

○ラスパイレス指数：職員の平均年齢が高くなってきていることから類似団体と比較して高い水準となっている。現行の給料表は年功的な体系となっており、上下の職務の級間での水準の重なりも大きいものとなっている。こうした年功的な要素が強い給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る観点から、職務の級間の給料表水準の重なりを縮小、枠外昇給制度の廃止などの措置を講じる。

○起債制限比率：普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を上回っている。今後控えている大規模な事業計画の整理・縮小を図るなど、起債依存型の事業実施を見直すとともに、公債費負担適正化計画に基づき、より一層の健全化を図っていく。

○人口1人当たり地方債現在高：類似団体平均を上回っている。主な要因としては、一般廃棄物埋立処分地施設整備(総事業費7.7億円、うち起債6.1億円)や公営住宅建設事業(平成10年～15年で総事業費13.5億円、うち起債7.1億円)等であるが、今後、新規地方債の発行の抑制等により地方債現在高の縮減に努める。

○人口1,000人当たり職員数：人口当たり職員数は類似団体平均を上回っているが、平成15年度以降、定年退職者不補充により職員数の削減を図っている。また、今後においても平成22年度までの5か年は新規職員の採用を原則凍結し一層の削減に努める。

